

協議の進め方について（実現プラン）

1 役割分担の決定（※各自いずれかの役割を担うこととする）

《グループ協議》

- ・ グループリーダー（1名）→協議の進行と協議結果の発表
- ・ 副リーダー（1～2名）→リーダーの補佐
- ・ 書記（1～3名）→結果を模造紙や提出用紙等に記載
- ・ タイムキーパー（1～2名）→時間配分の調整

2 実現プランについて

《グループ協議》

（1）実現プランを抽出〔90分〕

①実現方策に基づき

『地域でできること』『協働で取り組むこと』を念頭において

実現プランを付箋に記載する。付箋を、実現方策ごとに貼る。〔40分〕

②実現プランを検討し、まとめる。〔40分〕

③実現方策ごとにまとめた実現プランを、**様式2**に記載する。〔10分〕

【例】テーマ：福祉 ※裏面の事例を参考としてください。

産業・経済	（目標）○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○		
	実現方策：○○○○○○○	実現方策：○○○○○○○	実現方策：○○○○○○○
	実現プラン○○○○○○○	実現プラン○○○○○○○	実現プラン○○○○○○○
観光	（目標）○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○		
	実現方策：○○○○○○○	実現方策：○○○○○○○	実現方策：○○○○○○○
	実現プラン○○○○○○○	実現プラン○○○○○○○	実現プラン○○○○○○○

＜全体協議＞

（2）実現プランの整理〔20分〕

- ①各グループの協議結果を発表（グループリーダー）する。※各5分以内
- ②質疑応答。
- ③各グループから発表された実現プランについて協議し、整理を図る。

..... **【次回会議で決定】** .....

＜全体協議＞

（1）実現プランを設定する

- ①実現プラン（案）について全体で協議し、実現プランを設定する。

## 【事例】

テーマ：福祉

実現プランを記載してください。

(目標) みんなの思いやる心で幸せを感じる「まち」

実現方策：世代を超えた交流の場を充実させる

実現プラン：昔遊びを通して世代を超えた交流を行う。

昔遊びを通しての交流（子どもからシルバー）

公民館を利用し世代を超えた交流を深める事業を実施する。

昔遊びのゲームや工作等の指導者を選ぶ。

実現プランを付箋に記載して、ここに貼って、まとめて下さい。

小さなグループや自治会等で学びの場を作る。

教養と特性を活かした高齢者が地域の小中学校の授業及び出前講座に参加する。

学校の空き教室は利用できないか。

公共施設を開放して高齢者から児童まで参加の教室を開催させる。

小中学校へ総合学習補助ボランティアへシルバー人材派遣

地域施設を活用し交流を図る。